

天溪 2019 年「ピレネー国境横断ハイキング 10 日間」

「ピレネー国境横断ハイキング 10 日間」を 8 月 21 日～8 月 30 日に行いました。

ピレネーと言えばお花を求め山麓をハイキングですが、このツアーはフランス側からスペイン側へ歴史的伝説の場所、ローランの裂け目を越えて国境を縦断します。8 月後半のこの時期は乾燥から花々は殆ど終わりですが、澄んだ晴天の下で爽やかなハイキングが楽しめます。またこの地域は世界有数の良質ワインの産地と知られるフランス側ボルドー、スペイン側リオハに近く、ご機嫌な所でも有ります。



(ローランの裂け目・スペイン側 8/26 日)

○カルカソンヌ・ルルド・コトレそしてオーレット小屋

今年も世界遺産の歴史的城塞都市カルカソンヌ、聖母マリアの出現で有名なルルド泉に寄り、ピレネー山脈の温泉保養地コトレへ。翌日はゴーフ湖を通りフランス・ピレネー最高峰のビニュマル山(3298m)足下のオーレット小屋へハイキング。サマーバケーションも終わりに近く、気温が下がり始める 8 月下旬は現地の人達にとっても一番のハイキングシーズン。丁度この日は山岳マラソンと重なり登山道は大賑わいで、その関係者が山小屋居座り室内は大変な混み様でした。



(早朝のビニュマル山 8/23 日)





○ガバルニー圏谷

ピレネー山脈第2の高峰ペルデュ山(3355m)のフランス側に位置するガバルニー圏谷は円周14Km。その中央に有る落差1700mの滝壺まで左岸のトラバースルートを通してハイキングしました。今年は雪解けが遅かったのか、夏季が遅れているのか、はたまた欧州の猛暑のせいかわかりませんが、圏谷のモレーンにアイリスの群生が大岩壁を背に綺麗な花を咲かせていました。



(アイリスの花 8/24日)



○フランス・スペイン国境越え

タンテ峠からU字状のカールを巻き込みながら進みサラデ小屋へ。3年経ってもサラデ小屋は建設中で、昨年同様フランス側のガバルニーから一気に国境を越えてスペイン側のゴリツツ小屋へ。余談ですがサラデ小屋は雪崩の危険が指摘され再改装しているとか？サラデ小屋からモレーンの坂を登り、氷河状の大雪田を越え、一気に急登を詰めると国境のローランの裂けに到達。反対側のスペイン・オルデッサ圏谷はフランス側と異なるなだらかな丘状が延々と続きます。石灰質のゴツゴツした足場の悪い山肌を下り、正面にペルデュ山を見ながら進みゴリツツ小屋が目視される頃、その先に米国のグラン

ドキャニオンに匹敵するかの様なオルデッサ圈谷が現れました。石灰質はエーデルワイスの好む地質で、この辺りは結構群生を見かけます。スペイン側の麓の村トルラはフランス側との交易ルートで栄えた村。今もホタテ貝マークのサンチャゴデコンポステーラに向かう巡礼街道が通っています。



(ローランの裂け目・フランス側 8/26 日)



○スペインの史跡巡り

トルラから独特の岩容と黒いマリア像で有名なモンセラート修道院に寄り、バルセロナのサグラダファミリアへ直行。内部見学の後、エレベーターで上階に上がり塔の彫刻やバルセロナ市街を眺めた後、螺旋階段で戻りました。夜は近くのレストランでスペイン名物のパエリア料理と夜景観光。翌日はピカソ美術館で芸術鑑賞後、市場で買い物をしてから日本に向かいました。



(パエリア 料理 8/28 日)

